### 資料７－２

芯線設計の基本的な考え方について（記載例）

1. 芯線積算の基本的考え方について

光ケーブル：必要芯数の直近上位芯数である４芯１テープを使用。

テープ数：必要芯線数直近上位の芯数テープ数を整備。

必要芯線数：積み上げ方式。

スプリッター：○分岐スプリッターを基本とし、１クロージャあたり最大○スプリッターを搭載。

1. 放送用

放送用芯線数：○○を参考としながら、○○な地域事情に合わせ整備。

必要芯線数：○○によりクロージャ設置位置を決定し、○○に応じたスプリッター数を算出。芯線数○○の芯線を整備。

【本事業により新設する芯線数】

・必要芯線数 １芯＋保守芯（各幹線ごとに１芯）

・敷設芯線数 ４芯（４芯の光ケーブルが２芯光ケーブルよりも安価なため）

【残る２芯の考え方】

補助対象余剰芯として整理され、申請書、事業計画書に記載された範囲内で活用する。